

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第61回

森の彫刻家 上床利秋

溝辺に新逆鉾を建てる

東京に本社のある電子機器メーカーのユピテルでは、霧島レイという人気オリジナルキャラクターが若者の間で話題になっている。

10周年記念という事で、ファンの間でクラウドファンディングを利用して霧島レイの誕生祝いに霧島市の工場に巨大な看板を寄贈した。会社側もただファンに感謝の言葉を述べるだけでなく、独自のモニュメントを建てることになった。会長さんが伊佐市出身という事で、鹿児島県をアピールできるモニュメントを建てようという思いを込めて、独自の天の逆鉾と霧島レイの髪飾りを意味する彫刻制作を霧島市在住彫刻家の私に依頼してくださった。

当然の事ながら高千穂の山頂に建つ逆鉾は参考になる。山頂の逆鉾は柄が溶岩に突き刺さり、3



高千穂山頂の逆鉾は、既に1700年代には建立されていたが、霧島の爆発で壊れ、明治時代に復元された。



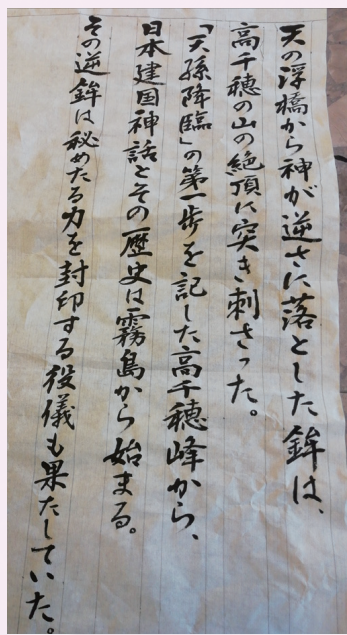
ブロンズに铸込んだ逆鉾を磨き、研いている筆者



逆鉾を突き立てる霧島溶岩は、山麓から探し出し、台座として設置する。彫っている彫刻は人気キャラクター霧島レイの髪飾り。

本の鉾の刃が並んで天を向いている。作品の主役は人ではなく、鉾という刃の抽象的な造形のオブジェである。そこで私は日本人の心にある反りのある美しい造形の日本刀の形を利用することにした。

より独創性のあるデザインとして、二本の日本刀を背中合わせに組み合わせしてみた。柄の部分には10月霧島の麓に可憐な花を咲かせるキリシマリンドウと高千穂の



霧島溶岩台座の裏面には「伝説」を彫り込む。揮毫は書道家の岡元春峰先生。

峰のレリーフをあしらった。

刃の部分はブロンズを鏡面仕上げで光沢を強め、太陽光に反射して照り輝くように磨いてみた。

仕上げた逆鉾を支える石には実際に産出された霧島溶岩の自然石を利用した。火山から生まれ出た溶岩の隙間から人気キャラ

クター霧島レイの髪飾りの化石があたかも覗いているように彫刻を施し、水磨きしてみた。すると、驚くほど黒く光沢が出た。

このモニュメントは鹿児島空港近くのユピテル鹿児島道路沿いに屋外設置され、1月20日に除幕式を迎えて一般公開される。

日展会員 白日会会員 日本彫刻会正会員

この森のアトリエで彫刻を共に作ってみませんか

御感想をお寄せ下さい。

<https://douzou.jp/>

上床利秋 検索

バックナンバーも読むことができます。



レモン画材絵画教室 ご案内

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
- ②13:30～
- 月1回 第2火曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室



お申し込みは TEL 0995-45-1015
国分進行堂・レモン画材まで